

急げ！ 学校耐震化

関戸 勇 議員

問 防災対策について、市はどの程度の地震まで考えているか。

答 総務部長 防災計画は、市役所地下16キロメートルを震源とするマグニチュード7.5の地震が発生した場合を想定している。

問 火災による被害及び帰宅困難者の想定は。

答 相当な被害が出る感じがするが、火災までは想定していない。帰宅困難者は、東日本大震災のときはおおむね500人だったが、直下型地震では、上回るのではないかと考えている。

問 地盤によって被害が出ることを考えた上で計画を立てる必要がある。市内にはたくさん小学校があるが、学校単位で教室はどのぐらいの損傷を受けるのか。

答 教育部長 IS値0.7に達している学校は67.3%。今のところ耐震化率でしか答えることができない。

問 耐震化率100%はいつまでに達成するのか。

答 補助金が28年度までなので、なるべく早い時点で100%を目指したい。

問 地震はあす来るかもしれない。統廃合は中止して、全学校の耐震化を急ぐことが必要だと思う。

市長 耐震化の順番があるのは事実。その中で、現場と減災をするための工夫を調整する必要がある。

どうなる？ FM局開設

山野井 隆 議員

問 FMラジオは、震災で重要な役割を果たした。また、FM局開設は市長選のマニフェストにもある。今までの取り組みは。

市長 専任職員を配置し、電波電界調査を実施。臨時災害FM放送局の開設に向け、総務省関東総合通信局と協議を継続している。

問 FMは臨時災害とコミュニティとで免許が違うが、どちらで踏み切るのか。

総務部長 周波数の調査結果を踏まえると、コミュニティFMの立ち上げは難しい。市単独では、臨時災害FM放送局しかないと認識している。

問 既存のコミュニティFMを利用してはどうか。

答 コミュニティFM局の協力が得られれば考えたい。

問 ラジオつくばが増波した場合、市で十分聞ける可能性があるが、5市町が参加しているが、市の考えは。

答 基本的な災害で対応したいが、参入できる余地があり、効果があることを精査した上で、参加していければという思いがある。

取手駅周辺の ウェルネス

結城 繁 議員

問 駅前がウェルネス・タウン構想の核になるのであれば、歩きたばこ、ポイ捨て等はどのように周知徹底していくのか。

まちづくり振興部長 たばこに関しては、まちをきれいにする条例が施行されているが、健康に配慮したソフットの部分の手当ても整備していく必要があると認識している。

問 四ツ谷橋のペDESTリアンデッキ延伸の進捗状況について伺う。

中心市街地整備課長 ボックスヒル及びJRと協議中。25年度末完成を予定。

問 医療ビルの通路の所有権移転に関して伺う。

答 7年契約の中で移転等についても継承していた。また、歩行空間の管理は、条例等の中で事業者と協議を詰めていく。

問 常磐線東京駅乗り入れについての進捗状況について伺う。

まちづくり振興部長 25年度には実現すると聞いている。上野駅などに取手のイメージアップのため各種パンフレットをそろえている。



取手宿ひなまつりの様子

イベントを育て 人口減対策を

市村 達明 議員

問 市のイベントで花火大会の次に来場者が多いのは何か。

まちづくり振興部長 11月のとりで産業まつりが2万6千人、4月の子ども天国が1万人以上の来場者がある。

問 市外から人が来るのはメリットが大きいのではないかと。市にお金を落とす意味で、花火大会に次ぐイベントを育てる、新しいイベントを行うことが必要。このことは考えているか。

答 取手宿ひなまつりは、商工会主催だが市外からの来場者が多い。期間中、駅からハイキングやジャズフェスティバルなど取手をアピールできるような取り組みをしている。

問 一大イベントにするためのアプローチを何とかしていくのは課題。新規のイ

ベントについては。

答 ことし初めてジャズフェスティバルを企画した。

問 街コンが言われている。市のイメージアップにもつながると思うので、新しいもの、時代に合ったものに取り組んでもらいたい。

市民と共に 除染活動を

吉田 宏 議員

1 放射線量の測定からマップ完成までのスケジュールはどうなっているのか。

2 測定地域選定に小中学校の通学路は考慮したか。

3 市があくまで主体だが市民と一緒にやって除染作業を進めるべき。消防団やボランティアの活用を。

まちづくり振興部長 1 現在、GPS連動型放射線自動計測システムを搭載

した車両による計測と市政協力量の測定結果のデータを重ね合わせている。3月いっぱい環境省に申請し、承認を得て、具体的な除染の作業に入る。

2 車で通れる通学路はほとんど網羅している。車で通れない通学路については市政協力量の測定結果を重ね合わせる。

3 各家庭の除染等について、自治会やボランティアの協力は必要。自治会や市政協力量と連絡を取り合い、地区に合った除染をしたい。しかし特別公務員の消防団に除染作業を委託することは自治法上、国の経費負担上の問題があり難しい。可能な範囲の中で消防団の協力を検討したい。

ここも見てって



取手市議会では、本会議の生中継を行っております。インターネットに接続できるパソコンをお持ちの方は、取手市役所ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の録画配信も行っております。さらに、過去の本会議会議録や委員会記録を「会議録検索システム」も検索・閲覧できるので、ご利用ください。